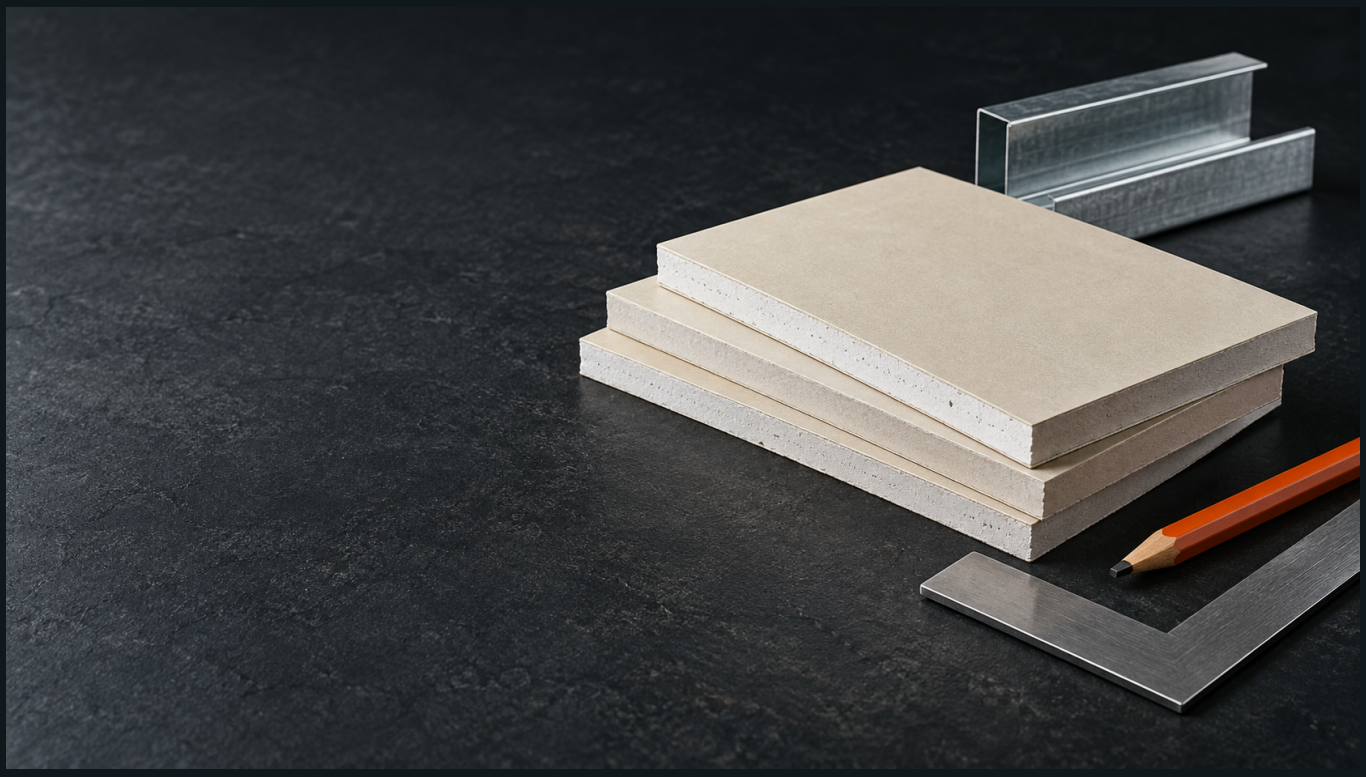
第1章
試験の全体像と、条件の読み取り



この章でできるようになること

級・年度・資料の役割を分け、図面から必要な情報と不足する情報を取り出せる。

1級・2級の学科と実技準備／v1.1

日本語解説音声・図解・全文字幕付き動画／現場実演は収録しません。

資料の版・確認日は「出典と学習範囲」へ。

01-01　職種・作業・等級を分けて読む

この講座は、技能検定の職種「内装仕上げ施工」の「ボード仕上げ工事作業」を扱います。「鋼製下地工事作業」とは同じ職種の別作業です。一方、「表装」の「壁装作業」は職種自体が異なります。申込みでは、職種・作業・級を正式な表記で照合します。

厚生労働省の令和2年2月の試験基準は、1級を上級、2級を中級の技能者に相当する基準として定めています。共通の基礎を学んでも、級別の要求水準まで同じになるわけではありません。1級では施工計画や積算の学習も必要です。

中央職業能力開発協会の学科概要では、1級・2級とも真偽法と四肢択一法、50題、1時間40分です。この教材の独自問題は、公式問題の再現や出題予測ではありません。答えと一緒に、判断に使った条件を一行書く練習に使います。

職種 内装仕上げ施工	選択作業 ボード仕上げ工事作業	等級 1級・2級
職種だけで 止めない	表装（壁装作業）は 別の職種	級別の範囲を 別に確かめる

D01　概念図・縮尺なし

例：申込書に「内装仕上げ施工」とだけメモした場合、選択作業と級が不足しています。「ボード仕上げ工事作業・2級」と追記して、申請先の当該年度の案内と照合します。

自分で確かめる：自分が受検する作業名と級を、案内書の表記で書き写す。

参照：S01, S03, S21。資料名・版・リンクは「出典と学習範囲」へ。

01-02　基準・年度の課題・製品仕様は役割が違う

試験基準は学ぶ範囲、年度ごとの実技概要はその期の課題の大枠、配付される実技問題・実施要領は作る物や使用条件を確かめる資料です。受検地から届く案内で、試験台、支給材料、工具、会場の注意事項も確認します。

令和8年度前期の公表概要では、1級は鋼製下地付き試験台で天井と柱による違い壁、2級は天井と平壁のボード仕上げです。標準／打切りは1級2時間40分／2時間55分、2級2時間10分／2時間25分でした。この期の情報を次年度の確定条件として覚えないでください。

現場の性能や取付けは、採用した設計図書、認定条件、製品の施工仕様等で確認します。学科の法令・規格の基準日も受検する期ごとに調べます。制作時に確認した後期の基準日を、前期へ流用しません。

試験基準	年度の実技要領	製品・構法の資料
何を学ぶか 知識と技能の範囲	何を作るか 寸法・材料・工具	何にどう適用するか 製品・認定・取付け

D02　概念図・縮尺なし

例：古い練習図にある寸法と、今年配付された課題が違う場合、古い図のまま加工しません。資料の年度・級・訂正情報を照合し、今年の要領で確定します。

自分で確かめる：試験の年度・期・地域、資料名、版、訂正の有無を記録する。

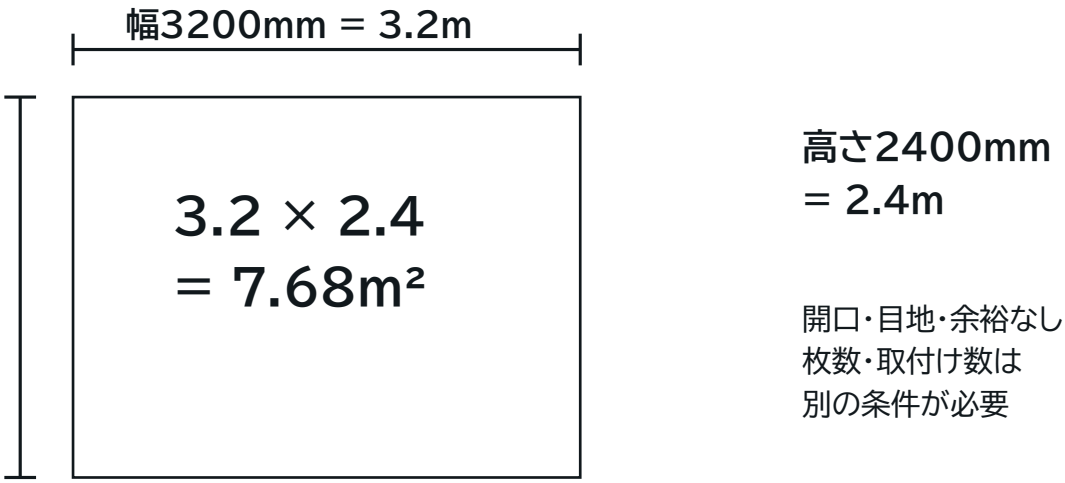
参照：S01, S02, S04, S05。資料名・版・リンクは「出典と学習範囲」へ。

01-03　寸法をそろえ、分からない条件を残す

図面は、平面図・天井伏図・展開図・断面詳細を照らして読みます。天井伏図は天井の配置を見る図、展開図は壁面を正面に開いて見る図です。同じ位置の開口や基準線を対応させ、仕上がり寸法と下地寸法を混ぜないようにします。

数量は、まず単位をそろえます。1000mmは1mですが、1000mm×1000mmは1m²です。長さをmへ直してから掛けると、面積と長さの取り違いを見つけやすくなります。

独自演習C01では、幅3200mm、高さ2400mmの矩形を考えます。開口・目地・端部の余裕はなく、実際の課題や施工仕様ではありません。面積は計算できますが、この情報だけで実際の板の発注枚数やねじ本数は決まりません。板寸法、層、向き、継目、切断と端材の扱い等が必要です。



D03　独自条件C01／図の矩形は縦横比4:3。施工図ではない

解いた例C01：3200÷1000=3.2m、2400÷1000=2.4m。3.2×2.4=7.68m²。逆算は7.68÷2.4=3.2m。面積を枚数と書かないことも確認します。

自分で確かめる：幅2800mm×高さ2500mmの面積を求め、板枚数を決める追加条件を二つ書く。解答は確認問題Q05へ。

参照：S01。資料名・版・リンクは「出典と学習範囲」へ。

第1章サンプルの使い方と出典

このPDFの1〜4ページは、講座v1.1の第1章と同じ内容です。図の条件と、答えを出すまでの考え方を確かめてください。音声・図解・全文字幕のある同じ第1章の動画も、講座の詳細ページで無料サンプルとして紹介します。

参照した公式資料

S01 厚生労働省 内装仕上げ施工技能検定試験の試験科目及びその範囲並びにその細目
版:令和2年2月／確認:2026-10-27 公式資料を開く

S02 中央職業能力開発協会 令和8年度前期 技能検定実技試験問題の概要
版:令和8年度前期／確認:2026-10-27 公式資料を開く

S03 中央職業能力開発協会 実施職種・試験概要
版:Web、版表記なし／確認:2026-11-01 公式資料を開く

S04 中央職業能力開発協会 学科試験等の内容に適用される法令、規格等
版:令和8年度後期の案内／確認:2026-10-27 公式資料を開く

S05 中央職業能力開発協会 技能検定のご案内
版:Web、版表記なし／確認:2026-10-27 公式資料を開く

S21 中央職業能力開発協会 令和8年度前期 技能検定実施職種(作業)一覧
版:令和8年度前期／確認:2026-11-01 公式資料を開く

全12章の講座には、日本語の解説音声付き動画12本、本文の図36点、独自問題72問、PDF18本184ページを収録しています。生成AIを用いた音声・映像に、独自の図解と全文字幕を加えて制作しています。人間の職人による施工実演・個別指導・外部専門家の監修を示す教材ではありません。

過去の実技概要を、次年度の確定条件として使わないでください。受検する級・年度の公式要領と、採用する製品の資料を確認して学習します。合格や施工技能の習得を保証する教材ではありません。

講座の詳細を見る ／ サンプルは閲覧用です。無断公開・再配布はご遠慮ください。